



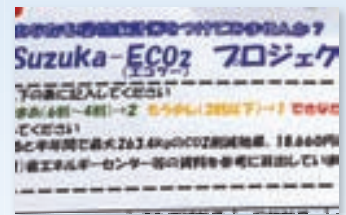
# 省エネルギー



私たちの暮らしを支えている石油やガスなどの化石エネルギーは限りある資源です。また、これらの化石エネルギーを大量に消費すると、地球温暖化の主な原因である二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量の増大につながります。

安定したエネルギーの供給や、限りある地球の資源を大切に使うため、そして二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)をできるだけ排出しないために、重要なのが「省エネルギー」の取り組みです。

一人一人のできることをもう一度見直して、もっとエネルギーを大切に使う、環境にやさしい生活の方法について考えてみましょう。



## 今年の夏の電力状況は？

国内の原子力発電所の全てが停止したことで、特に原発依存度が高い関西電力管内では、今夏、ピーク時の電力がまかなえなくなり、このまま何の対策も行わないと、広域停電の恐れがあるとされています。また、それ以外の地域でも、九州電力、北海道電力、四国電力管内では電力不足が見込まれています。

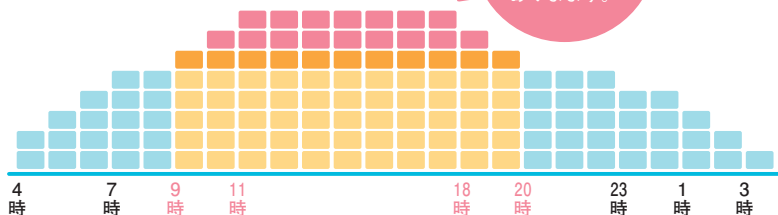
中部電力管内では、不足した電力供給量を火力発電所の再稼働や定期点検の時期をずらすなどの運転継続によって積み上げていますが、急激な気温変化やトラブルによる発電所の予期せぬ停止などで、電力需要がひっ迫する可能性もあります。

そのため、電力の安定供給を確保していくためにも、電気の利用者である私たち一人一人の協力が求められます。

## ピークカットとピークシフト ～ピーク時の節電にご協力ください～

平日の日中は、電力需要が高まり、節電が必要な時間帯となります。

充電や炊飯などピーク時を避けられるものはシフトする必要があります。



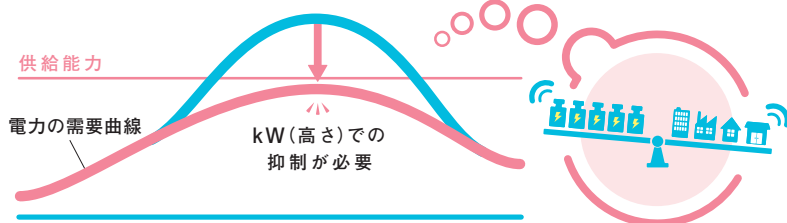
夏季(7～9月)の平日は冷房需要が増え、一日の中では13～16時ごろに全体の電力需要が最も大きくなります。

この時間帯にできるだけ電気を使わず、電力の最大使用量を抑えることが「**ピークカット**」です。

また、使用時間をずらせるもの(充電や炊飯など)をピーク時からずらす工夫が「**ピークシフト**」です。

この二つが今夏のキーワードであり、電力の安定した供給につながっていきます。同時間帯における節電につきまして、ご協力をお願いします。

ピーク時間帯は、使用電力の削減により、需要が供給をこえないようにしなければなりません。



※資源エネルギー庁ホームページの表を一部改変

## ご注意ください

- 普段の生活や仕事に支障が出るような節電はしないでください。
- 冷房のガマンのしすぎや炎天下での無理な外出など、極端な取り組みは健康を害する恐れがあります。熱中症予防など無理のない範囲での節電をお願いします。
- 必要な電力は使用しつつ「楽しく節電」する工夫をしましょう。

